作成日: 2020年7月21日
改定日: 2024年4月 8日

安全データシート

1.化学品及び会社情報

化学品の名称	スカイショットEX
供給者の会社名称	株式会社理研グリーン
住所	東京都台東区東上野4-8-1
担当部門	開発部
電話番号	03-6802-8587
ＦＡＸ番号	03-6802-8303
緊急連絡先	同上
推奨用途及び使用上の制限	土壌浸透剤

2.危険有害性の要約

化学品のGHS分類 :

物理化学的危険性

爆発物	区分に該当しない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高圧ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	区分に該当しない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	区分に該当しない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	区分に該当しない
酸化性固体	区分に該当しない
有機過酸化物	区分に該当しない
金属腐食性化学品	区分に該当しない
鈍性化爆発物	区分に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	区分に該当しない
急性毒性（経皮）	区分に該当しない

急性毒性（吸入：ガス）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
誤えん有害性	分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性　短期(急性)	分類できない
水生環境有害性　長期(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	区分に該当しない

急性毒性（経口）が未知の成分を約95%含む。
水生環境有害性が未知の成分を約95%含む。

GHSラベル要素

絵表示	：ー
注意喚起語	：ー
危険有害性情報	：ー
注意書き	：ー

【予防策】
取扱後は手などをよく洗うこと。

【対応】
飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗い、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄すること。
【保管】
密閉容器中に保管すること。

【廃棄】
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

【使用上の注意】
安全データシート（SDS）を参照して下さい。

3.組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　　：　混合物
官報公示整理番号（化審法）　：　既存
官報公示整理番号（安衛法）　：　既存

成分及び含有量

化学名	含有量（%）	化審法Ｎｏ.	ＣＡＳ　Ｎｏ.
非イオン界面活性剤	100	既存	非公開
2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール		3-540	128-37-0

＊POA：ポリオキシアルキレンの略

4.応急措置

吸入した場合　：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
　呼吸が困難な場合には、医師の診断／手当を受けること。
皮膚に付着した場合　：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。
　皮膚を流水／シャワーで洗うこと。／再使用する場合には洗濯すること。
　皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
眼に入った場合　：直ちに清浄な水で１５分以上洗眼した後、医師の処置を受ける。
　コンタクトレンズを容易に外せる場合は外し、洗浄すること。
飲み込んだ場合　：水で口の中を洗浄し、コップ１～２杯の水又は牛乳を飲ませる。
　直ちに医師の処置を受ける。口をすすぎ、無理に吐かせないこと。
　気分が悪い時は、医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状　：情報なし
応急措置をする者の保護に必要な注意事項　：情報なし
医師に対する特別注意事項　：情報なし

5.火災時の措置

適切な消火剤　：粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、霧状水、砂など

使ってはならない消火剤　：棒状注水
火災時の特有の危険有害性：燃焼ガスには有毒ガス（一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物等）が含まれる場合があるので、消火作業の際には煙を吸入しないようにする。
特有の消火方法　：消火作業は風上から行う。火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
周囲の設備等に散水して冷却する。燃焼源の供給を速やかに止める。
消火を行なう者の保護具及び予防措置　：　消火作業の際は必ず保護具を着用する。
消火作業は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置　：　屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業の際には保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガス等を吸入しないようにする。
環境に対する注意事項　：　漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材
除去方法　：　屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
少量の場合は吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、
残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。 大量の場合は盛土で囲って流出を防止し、
安全な場所に導いてから処理する。
二次災害の防止策　：　付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
火花を発生しない安全な用具を使用する。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策　：　作業場の換気を十分行う。取扱いの都度、容器を密閉する。
取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。
注意事項　：　眼及び皮膚への接触を避ける。
貯蔵条件によって、全体または一部が固化することがある。そのときは加温・融解し均一化して使用する。
安全取扱い注意事項　：　取り扱う場合は局所排気内又は全体換気の設備のある場所で取り扱う。
接触回避　：　10.安定性及び反応性を参照。
衛生対策　：　使用中は飲食や喫煙をしない。
休憩前や製品取扱直後には手を洗う。
適切な産業衛生及び安全対策の下に取り扱う。

保管

安全な保管条件　　：　涼しい所／換気の良い場所で、容器を密閉し保管すること。火気厳禁。

安全な容器包装材料　：　十分な強度を有する容器を使用する。

8.ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

管理濃度　　：設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会：設定されていない（2022）

ＡＣＧＩＨ　　：2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾールTWA 2mg/m3(IV),STEL　-（2023）

設備対策　　：取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
適切な排気換気装置を使用する。

保護具

呼吸用保護具　　：通常必要としない（必要により有機溶剤防毒マスク）

手の保護具　　：耐溶剤性保護手袋

眼、顔面の保護具　　：側板付き保護眼鏡（必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡）

皮膚及び身体の保護具　：耐溶剤性保護衣、静電気防止加工長袖作業衣

特別な注意事項　　情報無し

9.物理的及び化学的性質

物理状態	:	液体(GHSの定義における物理状態を示す。)
形状	:	液体(30℃)
色	:	無色～淡黄色
臭い	:	特異臭
融点／凝固点	:	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	:	データなし
可燃性	:	データなし
爆発下限界および爆発上限界／可燃限界	:	上限：データなし　　下限：データなし
引火点（測定法）	:	水溶液のため測定できない
自然発火点	:	データなし
分解温度	:	データなし
ｐＨ（測定条件）	:	4-7（1%水溶液）
動粘性率	:	データなし
溶解度：水溶解性	:	可溶
溶媒溶解性	:	アルコールに易溶
n-オクタノール／水分配係数	:	データなし
蒸気圧	:	データなし

密度及び／又は相対密度	:	1.0（20℃）
相対ガス密度	:	データなし
粒子特性	:	データなし
その他のデータ	:	データなし

10.安定性及び反応性

反応性	:	情報なし
化学的安定性	:	通常の使用では安定。
危険有害反応可能性	:	情報なし
避けるべき条件	:	情報なし
避けるべき材料	:	情報なし
混触危険物質	:	酸化剤
危険有害な分解生成物	:	情報なし
その他	:	情報なし

11.有害性情報

急性毒性

急性毒性（経口）：（製品のデータ）データなし

以下のデータから求めたATEmix値=42087mg/kgより区分に該当しないとした。

（成分のデータ）プロピレングリコール：マウスLD50　24900mg/kg

2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール：ラット LD50　2,450 mg/kg

急性毒性（経皮）：（製品のデータ）データなし

以下のデータから求めたATEmix値=35017mg/kgより区分に該当しないとした。

（成分のデータ）プロピレングリコール：ウサギLD50　20800mg/kg

2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール：ラット LD50 ＞2000mg/kg

急性毒性（吸入：ガス）： GHSの定義による液体であるため区分に該当しないとした。

急性毒性（吸入：蒸気）：（製品のデータ）データなし

データがないため分類できないとした。

（成分のデータ）データなし

急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）：（製品のデータ）データなし

データがないため分類できないとした。

（成分のデータ）データなし

皮膚腐食性／皮膚刺激性　：（製品のデータ）データなし

データがないため分類できないとした。

（成分のデータ）プロピレングリコール：区分に該当しない

2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール：区分に該当しない

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：（製品のデータ）データなし

区分2の成分が10%未満であり、全ての成分のデータがないた

め分類できないとした。
（成分のデータ）
プロピレングリコール：区分に該当しない
2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール：区分2B

呼吸器感作性　：（製品のデータ）データなし
データがないため分類できないとした。
（成分のデータ）データなし

皮膚感作性　：（製品のデータ）データなし　データがないため分類できないとした。
（成分のデータ）プロピレングリコール：区分に該当しない

生殖細胞変異原性：（製品のデータ）データなし　データがないため分類できないとした。
（成分のデータ）データなし

発がん性　：（製品のデータ）データなし　データがないため分類できないとした。
（成分のデータ）プロピレングリコール：区分に該当しない

生殖毒性　：（製品のデータ）データなし
区分2の成分が3.0%未満であり、全ての成分のデータがないため分類できないとした。
（成分のデータ）2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール：区分2

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：（製品のデータ）データなし
区分1の成分が1.0%未満であり、全ての成分のデータがないため分類できないとした。
（成分のデータ）
2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール：区分1(神経系)

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：（製品のデータ）データなし
区分2の成分が10%未満であり、全ての成分のデータがないため分類できないとした。
（成分のデータ）
2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール：区分2(肺、肝臓)

誤えん有害性　：（製品のデータ）データなし
界面活性剤を含有しており判定が不明であるため分類できないとした。
（成分のデータ）データなし

12.環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性　短期(急性)：（製品のデータ）データなし
区分1の成分が0.25%未満であり、全ての成分のデータがないため分類できないとした。

（成分のデータ）
プロピレングリコール：オオミジンコ、LC50　43500mg/L
2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール：甲殻類（オオミジンコ）の48時間 EC50=0.84mg/L

水生環境有害性　長期(慢性）：（製品のデータ）データなし
区分1の成分が0.25%未満であり、全ての成分のデータがないため分類できないとした。
（成分のデータ）プロピレングリコール：区分に該当しない
2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール：区分1

残留性／分解性　：　情報なし
生体蓄積性　：　情報なし
土壌中の移動性　：　情報なし
オゾン層への有害性　：　データなし。なお、モントリオール議定書にリストアップされていない。
その他　：　情報なし

13.廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
：内容物/容器を法律・条令に従って廃棄すること。 都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託する。 焼却に際しては可燃性物質を含むので注意して行う。 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14.輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報：陸上輸送：消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。
航空輸送はIATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。

国際規制

国連番号・国連分類　：　該当しない
ＩＡＴＡ：UN Number　：　該当しない
IMDG：UN Number　：　該当しない
緊急時応急措置指針番号：　－

15. 適用法令

国内適用法令

化学物質排出把握管理促進法
法第２条第２項、施行令第１条別表第１　：　該当しない
化審法（特定化学物質）　：　特定化学物質に該当しない

労働安全衛生法

2025年3月31日まで

通知物質

2021年1月1日施工 ： 2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール
含有量： 0.1 %

表示物質 ： 表示対象裾切り値未満

2025年4月1日から

通知物質

2025年4月1日施工（追加分） ： プロピレングリコール
含有量： 4.9 %

2025年4月1日施工 ： 2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール
含有量： 0.1 %

表示物質 ： プロピレングリコール

施行令別表第１　危険物 ： 該当しない

施行令別表第６の２　有機溶剤 ： 該当しない

施行令別表第３　特定化学物 ： 該当しない

粉じん障害防止規則 ： 該当しない

がん原性物質 ： 該当しない

毒劇物取締法 ： 該当しない

消防法 ： 消防法危険物に該当しない

船舶安全法 ： 該当しない

航空法 ： 該当しない

その他の法令 ： 海洋汚染防止法 海洋汚染物質に非該当

物質登録情報 ENCS(Japan) ： 既存化学物質

16.その他の情報

引用文献

・GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル,作業場内の表示及び安全データシート(SDS)（JIS Z 7253：2019, JIS Z 7252：2019)

・国際化学物質安全性カード（ＩＣＳＣ）コンパイラーズガイド　日本語版国立衛生試験所化学物質情報部編、化学工業日報社、１９９４年

・製品安全データシートの作成指針（改訂版)、厚生労働省医薬局審査管理課化学物質安全対策室・厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質調査課・経済産業省製造産業局化学物質管理課・環境省環境保健部環境安全課監修、(社）日本化学工業協会・日本レスポンシブル・ケア協議会、平成１３年１０月

・日本界面活性剤工業会、SRA-GHS 分類判定（2010.2)

・日本界面活性剤工業会、MSDS 作成ガイドラインと主要製品の標準 MSDS モデル(平成１３年１１月)

・(社）日本化学工業協会　GHS 対応ガイドライン　ラベル及び表示・安全データシートの作成指針
２０１９年６月

・㈱三菱総合研究所、平成１９年度経済産業省委託事業　GHS 分類基準等の基盤整備事業報告書、
　平成２０年３月

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途･用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。当製品安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。